



■再犯防止シンポジウム2019 in関東ブロックを開催します

薬物依存からの回復を考え、支えるために

事前申込制

11月6日(水)必着

先着**300名**

日時：令和元年**11月10日(日)**13:30~16:00

場所：さいたまスーパーアリーナ

TOIRO(STUDIO1・2)

[定員になり次第締め切らせていただきます]

[詳細は東京矯正管区HPから御確認ください]

プログラム概要

講演

「依存症に対する正しい理解と
必要とされる支援について」



成瀬暢也氏

(埼玉県立精神医療センター副病院長)

入場無料

依存症患者に共通する6つの特徴

依存症は、国際的な診断基準などで明確に病気として位置付けられており、意志の力では対処できない物質使用のコントロール障害を主症状としています。薬物乱用も薬物依存の一症状です。

依存症患者には次の6つの共通した特徴があるとされますが、その内容は誰しにも当てはまるものではありません。

自己評価が低く 自分に自信を もてない	人を 信じられない	本音を 言えない
見捨てられる 不安が強い	孤独で さみしい	自分を大切に できない

依存症の患者は、これらの生きづらさを抱え、精神症状に苦しむ一人の地域生活者であり、偏見や先入観を排して回復と社会復帰を支援することが欠かせません。

参考：成瀬暢也「ハームリダクションアプローチ」
中外医学社

パネルディスカッション

「薬物依存からの回復を考え、支えるために」

コーディネーター



荻上千キ氏

評論家。1981年生まれ、
兵庫県出身。TBSラジオ「荻上千キ・
Session-22」メインパーソナリティ

パネリスト

成瀬暢也氏 (埼玉県立精神医療センター副病院長)

栗坪千明氏 (NPO法人 栃木DARC理事長)

栃木県 保健福祉部薬務課長

栃木刑務所 教育専門官

ごあんない

今回のシンポジウムでは、成瀬暢也先生にご講演をいただけることとなりました。

成瀬先生は、依存症治療の第一人者としてご活躍されるとともに、この問題について、大変分かりやすく発信されています。著書はもちろんのこと、秋田書店(株)が運営するサイト「Souffle」に掲載された漫画家菊池真理子さんとの対談『「家族が依存症」のしんどさ、どうすれば?』をお読みいただければ、依存症に苦しむ人、また、その家族に対して同じ人間として真摯に向き合い、そして暖かな視線を送り、抱える生きづらさに手を差し伸べていらっしゃる事が伝わるかと思えます。ぜひ、成瀬先生のお話をお聞きください。

また、パネルディスカッションのコーディネーターをお願いした荻上千キさんは、2017年1月17日にTBSラジオ「荻上千キ・Session-22」で放送された「薬物報道ガイドライン」を作ろう!」でギャラクシー賞・ラジオ部門大賞を受賞されています。その内容は同番組のホームページで書き起こされていて、大変示唆に富むものとなっています。メディアの報道がはらむ依存症への差別や誤解の助長、薬物への興味を惹き起こすような表現について、荻上さんが依存という病に苦しむ人を傷つけない方向へ進めたいという理念を共有しつつ、様々な言葉を引き出していらっしゃるようです。当日も大きな価値を生む対話が展開されると思えます。

今回のシンポジウムが、栃木県が新たに取り組んでいる薬物依存に苦しむ満期釈放者などを支えるアプローチなどを含め、生きづらさを抱えて犯罪に至った人であっても、「誰一人取り残さない」、また、苦しむ人を増やさないという再犯防止や更生支援の視点を共有できる場所になるものと確信しています。





■受刑者・少年院在院者の就労を確保したい！

- ▲無職者は有職者より、再犯率が約**3倍**高い。(平成25年～29年保護統計年報)
- ▲再犯して刑事施設に戻った人の約**7割**が、再犯時に仕事をしていない。(平成29年矯正統計年報)

就労の確保は再犯リスクの低減に直結する重要な課題

法務省では、厚生労働省などと共に刑務所出所者等の就労支援に取り組んできましたが、平成28年から、**コレワーク**（矯正就労支援情報センター室）を東西2か所に設け、受刑者・少年院在院者とその雇用を希望する事業主とのマッチングに取り組んでいます。

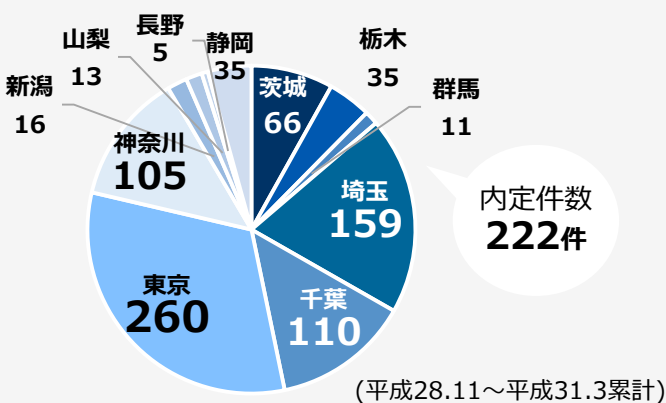
平成30年度末までに全国で**2,231件**のマッチングに関する相談があり、そのうち**540件**が内定へと結びつきました。

コレワーク東日本は、東京矯正管区（さいたま市中央区）に置かれています。

コレワークのサービス

- ①雇用情報提供サービス
出所6月以内だが、仕事の決まっていない全国の受刑者等の資格、職歴、出所後に帰る場所などの情報を一括管理し、事業者の方から相談を受け、その雇用ニーズにマッチする者を収容する刑務所等をご紹介します
- ②採用手続支援サービス
- ③就労支援相談窓口サービス
事業者の方への奨励金などの支援制度をご案内

東京矯正管区管内の事業者による雇用情報提供サービス利用815件の都県別内訳



お問い合わせ先 ☎ **0120-29-5089**

つ(な)ぐ コレワーク

(受付時間 平日のみ 🕒 10:00～17:00)

✉ recruit-inmates-tokyo@cccs.moj.go.jp

■コレワークと地方公共団体が連携した取組

コレワークでは、地方公共団体と連携し、企業の社会貢献活動の一環として、刑務所出所者等の雇用を模索している事業者の方などを対象としたセミナーの開催に当たっています。

内容としては、刑務所や少年院の見学、就労支援の取組の紹介、コレワークの業務内容説明を含めた出所者等の雇用手続のご説明、事業者等に対する各種支援制度のご紹介に加えて、実際に刑務所出所者等の雇用経験をお持ちの事業者の方にご講演をいただき、実例のご紹介も行っております。

各地方公共団体におかれても、このようなセミナーの開催について、ご検討いただければ幸いです。

また、事業者等が集まる研修会等の場におきまして、お時間をいただけましたら、コレワークの職員を派遣し、各種の説明を行わせていただきます。

上段記載の連絡先に、お気軽にお問い合わせください。



【内 容】
 ●施設内見学
 ●刑務所等の雇用手段の活用
 ●企業等に対する各種支援制度の説明
 ●刑務所出所者等の雇用経験のある事業者による講演(要予約)

【参加費】
 無料

【申込】
 11月15日 締め切り

【お問い合わせ先】
 東京矯正管区 更生支援企画課

▲静岡市産業政策課と連携し、令和元年7月5日に静岡刑務所で開催した刑務所出所者等雇用支援セミナーの開催状況です。11社12名の方にご参加いただきました。

詳細は東京矯正管区ホームページに**コレワーク東日本NEWS LETTER 2019.7-2**として掲載しております。



編集
後記

こけこっこー通信の発行開始から半年が経ちました。ありがたいことに、内容以外のタイトルやキャラクターについても多くの反響をいただいております。これからも皆様「読んでいただく」ことを意識した紙面づくりを目指し

ます。目下、再犯防止シンポジウムをより良いイベントとすべくスタッフ一同奔走しております。引き続きお引き立てのほどよろしくお願いいたします。TEL. 048-600-1560
 ✉ kouseishien-tokyo@cccs.moj.go.jp